愈々迫る 秋田県大館市 商工祭

全市をあげて盛大に

来る九月二十三日から二十九日まで大館市で「秋田県商工祭」（秋田県及県内八市共催）と「大館市商工祭」が行われることになりました。時まさに秋の観光シーズンにあたり、県内の産業紹介や週辺観光地の案内にとつて絶好の機会です。

第一会場は城南小

第一会場は「産業館」として城南小学校をあてます。同校の雨天体操場は「秋田県工業振興展覧会場」として各教室は全県の優良物産即売会場や弘前、八戸の代表的優良品の出品場として使用されます。

第二会場に公民館

第二会場の公民館（旧桂城小）は「観光演芸館」として次のような行事が予定されています

①秋田県観光展覧会
②県北二市三郡観光写真コンクール
③観光土産展示即売会
④観光地及温泉宣伝まつり

このうち①～③は旧教室が五室あてられ、④の「宣伝まつり」は公民館ホールで会期中毎日午前十一時より午後二時三十分まで、各地の歌、踊りの名手が熱演することになります。

観光演芸館を設置

県北二市三郡の写真コンクールの応募要領は次の通りです。

㋑作品は未発表のもので四ツ切以上のもの。応募締切は九月十五日まで
㋺応募枚数制限なし
㋩作品は返送しません
㋥入賞作品及び版権は主催者に属します。

㋭九月二十三日から九月二十九日まで「観光演芸館」内に展示室を設け二十四日に審査して入賞者を発表

㋬賞品
推薦一名　一万円
特薦二名　各三千円
入選五名　各一千円
佳作若干名各五百円
（共催）

秋田県観光連盟、北秋田観光協会、能代山本観光協会、八幡平観光協会、十和田観光協会、大館市（協賛）

地区内写真材料店、県北二市三郡カメラクラブ、秋北バス、各新聞社

会期中に敬老会を

九月十五日は「年よりの日」ですが、今年の敬老会は二十四日十時より公民館（観光演芸館）で式典が行われ、引きつづき各地の民芸手踊り等を観賞します。又この日はお年よりの方の飛入りもあつたりして盛大な敬老会になるものと思われます。

店頭装飾コンクール

市内各商店の店頭装飾コンクールも会期中に行われます。審査は二十四日に行われますが「新しい感覚で統一され店頭を立体的に構成して購売欲をそそるように工夫されているかどうか」などの点から審査されましよう。

その他商工祭の会期中に行われる主な行事をお知らせします。

◆全県専門店大会
23～24日　於鳳鳴

◆専門まつり　23日
「竿燈」「花輪ばやし」「仙北御山ばやし」「ささら踊り」「ぼんてん祭」「ばやし」などが市内をねり歩きます

◆東北六県商業教育大会
24～25日　於鳳鳴

◆秋田県選管連合総会
25日　於議事堂

◆全県柔道大会
25日　於第二会場

◆三宅春恵独唱会
25日　於鳳鳴

◆全県中小企業協組大会
26日　於鳳鳴

◆全国声良鶏鳴き合せ会
26日　於第二会場

◆秋田犬展覧会
26日　於一中（予定）

◆東北都市財務協議会
28日～29日　於鳳鳴

以上のように盛沢山の行事が折り込まれることになつており、人出も相当あると思われます。商工祭事務局では大館へ来られる方々の宿舎の準備も大へんな仕事で、市内の旅館はもとより大滝、日景温泉などにも泊つて頂くような手配をすすめています。

又大館駅と東大館駅の駅頭には大きな歓迎塔を設け、大橋や各会場に歓迎門をつくる外に市内各所に横断幕や広告旗、ポスターによつて、全市は商工祭のはなやかな色どりで飾られることになります。

商工祭は、私達郷土における産業の現状を知ると共に私達が豊かな明るい生活を営むことのできるよう、産業を更に伸展させることが商工祭の究極の目的です。商工祭の開催にあたつては市民皆さまの御協力をお願いすると共に、今後とも大館の産業を振興させるため大いに努力しようではありませんか。

農事メモ

稲作について

①低湿田、冷水灌漑田は早目に落水して地温を高め、成熟を促進しましよう。平担部の乾田地帯では出穂後約二十五日間は米粒の肥大成熟期です。この間は、田が乾きすぎると稔りをさまたげ、減収となりますから極端に田面を乾さぬこと。

②稗抜きは穂揃後速かに行い、落粒を防ぎましよう。

③採種田は異品種や罹病株を抜き取りましよう。刈取りは遅れないように注意し、穂軸が半分位黄色になつたときが刈取りの適期です。

④暴風雨については次のことに十分注意して下さい。

1　ラヂオ、新聞等によく気を配り、暴風警報が発令されたら、田に十分灌水して暴風による稲の動揺を少くして下さい。又田面や茎葉から盛んに蒸発する水分を補給して稲を保護しましよう。

暴風雨に御注意

暴風で稲が倒れたら……

㋑未熟のものでは、株を起して数株を一括し、穂首のところでつなぎ合せること

㋺倒伏した田は、排水をよくして田面の乾燥を計つて穂発芽の防止につとめよう

㋩熟期が進んだものは早刈をして米質の悪変を防ぐ

㋥倒伏稲の乾燥は十分間かくをおいて「ハサ」にかけ通風をよくしよう

㋬頸イモチ、節イモチ病は徹底防除に努めよう

水田裏作

一、麦類

①適期播種に努めましよう
麦類の適期は、中下旬です十月に入ると著しく不良になるから九月中に播くこと特に今年は稲の生育が遅れているため適期作業に心がけましよう。

②種子消毒を行いましよう
麦には種子伝染する病害が多いから必ず消毒を行う事
消毒方法は次の通り

㋑風呂湯浸法　浸漬開始温度C45度～46度　浸漬時間八～十時間

㋺水銀製剤消毒　千倍液（水一斗に五匁）に一時間浸漬する。

㋩粉剤消毒　セレサンを種子重量の〇・三%～〇・五%（大麦一升につき〇・九匁～一・四匁）混じて種子にまぶす

大麦は最近雲紋病の被害が多いから、種子消毒をして、被害麦稗堆肥は被覆に用いないように。

二、レンゲ

落水期に入つたら田面の停滞水排除につとめて下さい又稲の刈取り後はすぐ暗渠排水を行い田面の乾燥に努めましよう。

三、ナタネ（苗床管理）

㋑間引き…子葉が十分開き第一本葉が見え始めた頃に第一回の間引きを行い、二三本立とし、一両日おいて根がおちついたら第二回の間引きを行つて一本立ちに

㋺追肥…播種後十五日頃第一回を行う（硫安坪当20匁）その後十五日目頃第二回の追肥（硫安坪当30匁）

㋩病虫防除…キスヂノミムシ、アオムシ、カブラバチの幼虫、ヨトウムシ、アブラムシ等に対しDDT乳剤又は除虫菊乳剤を散布

畑作について

①九月上旬は秋播甘藍の播種適期であるから、時期を失しないように播きましよう。

②草苺の植付適期は中旬。この時期に播かないと、来春の果実のつきが悪くなります。適期をのがさないで早目に植付をしましよう。

③白菜の白斑病、黒斑病、露菌病の防除に努めよう。九月に入つたら銅製剤一号十二匁液（水一斗に銅製剤十二匁を溶かす）か、ダイセン水和剤約五百倍液（ダイセン水和剤九～十三匁を水一斗に溶かす）を一週間おきに撒布するとよい。

④秋播ホーレン草は九月上旬から中旬が適期です。